



「医療専攻」たより

新潟県立小出高等学校 Vol.2 令和2年8月27日

8月5日(水)、2年生の医療専攻生が「サマーセミナー2020 in KOIDE」(於 魚沼市立小出病院)に参加させていただきました。これは医療人をを目指す学生向けに実施されているもので、大学生に混じって小出高生も参加させていただいています。現場で活躍する医療人に説明をいただきながら働く現場を見せていただく、非常に貴重な機会でした。「白衣を着るのが楽しみ!」という生徒も、初めは緊張しながら臨みました。体験内容や生徒の感想などを紹介します。

【サマーセミナー2020 in KOIDE 8月5日(水) 当日のスケジュール】

時間	実習内容
8:45~9:00	開講式(院長挨拶・看護部長挨拶、職員紹介、日程説明)
9:00~9:40	院内見学
10:00~12:00	なりきり実習
12:00~13:00	昼食・休憩・写真撮影
13:00~14:10	なりきり講義(20分の講義を一人3つ選択)
14:30~16:00	ワールドカフェ「地域医療現場のチーム力とは」
16:00~16:25	院長講話、閉校式

1 「なりきり実習」

①看護師(病棟)

一人の患者さんに二人の看護師がつき、忙しいながらも細かく情報交換をしていて、このようにたくさんの情報を共有するからこそ、どんな緊急事態にでも対応できるのだと思いました。



②看護師(外来婦人科)



助産師の数が少ない中、小出病院の外来婦人科ではどのように仕事を分担し、他病院の産婦人科と連携しているのかというお話を聞くことができ、勉強になりました。

③理学療法士

患者さんがみんな笑顔でリハビリを行っていて、少しずつ回復していることを実感しているのだと感じました。また、会話を通して患者さんの不安を和らげることの重要性も学びました。



④医療ソーシャルワーカー



とても聞き上手で、患者さんやそのご家族も安心して相談ができると感じました。また、たくさんの患者さんご家族の情報を把握していることに驚きました。

⑤診療放射線技師

CT撮影の見学をさせていただき、大きな機械を手際よく扱っていた姿が印象的でした。また、患者さんを安心させるための声かけについても勉強になりました。



⑥臨床検査技師



患者さんから採取した検体を検査する「検体検査」だけではなく、超音波などで直接検査する「生体検査」も行っているということを知りました。

⑦薬剤師

薬を準備して渡すだけというイメージが強かったが、分量や成分を計算したり、新しい薬についての勉強をしたりするなど、想像以上に大変な仕事だと感じました。



2 「なりきり講義」



看護師、助産師、薬剤師、臨床検査技師、診療放射線技師、理学療法士、救急救命士、ケアマネージャー、管理栄養士の中から、1つ20分の講義を3つ選んで受講しました。少人数の講義だったので、効率よく様々な業種の方々からお話を聞くことができました。

3 「ワールドカフェ」



飲み物を飲みながらリラックスした雰囲気の中で議論を交わす「ワールドカフェ」という実習を体験しました。「地域医療現場のチーム力とは」というテーマでグループ毎に議論をし、途中グループを変えて他のグループとも議論を深め、最終的にまとめた内容を発表しました。

4 「院内見学」



普段見られないような設備や検査機械、院長室なども見学させていただきました。

5 「院長講話」



最後に、ワールドカフェで話し合った内容のまとめとして、布施院長先生から講話を頂きました。

◎生徒の感想

- ・院内見学をしてみて、私が知っている病院の内部は、ほんの一部だということがわかりました。私たちが見えないところで医者や看護師以外にたくさんの病院関係者の方々が働いていることに驚きました。
- ・ワールドカフェではまわりの人と意見交換をすることで、自分の考えをまとめることができました。これは医療についても同じで、患者さんについて話し合うことでより早く退院できるのではないかと思います。
- ・まわりの人が活発に意見交換をしていて、自分はまだまだだと感じたので日頃から自分の考えを述べる練習をしていきたいと思いました。
- ・グループとは、それぞれが目標をもって集まった集団で、チームとは、1つの目標のために集まった集団という布施院長先生の言葉がとても印象に残りました。チームで医療を行うことの大切さを学びました。
- ・チームとは、一人一人違うプロフェッショナルが集まって同じ目標に向かっていくことが大切だということが印象に残りました。

◎サマーセミナー振り返り

8月21日(金)、サマーセミナーで体験したことについての質問を学校でまとめ、小出病院でその質問をさせていただきました。お忙しい中たくさんの病院関係者にご出席いただき、40個近くの質問について丁寧に答えて頂きました。



サマーセミナーは医療専攻の目玉である行事ということもあり、生徒の表情にも充実感が表れていました。布施院長先生始め小出病院関係者の皆様、大変貴重な機会をありがとうございました。